

温泉分析書

日本衛生 温 第 0051 号

1 申請者の住所及び氏名		札幌市白石区菊水6条3丁目1-26		デリシャス株式会社				
2 源泉名及び湧出地		ニセコアンヌプリ温泉 (源泉名 ニセコアンヌプリ温泉) 虻田郡ニセコ町ニセコ438番地						
3 湧出地における調査及び試験成績								
(イ) 調査及び試験者 : 日本衛生株式会社 藤澤英樹								
(ロ) 調査及び試験年月日 : 平成 25 年 6 月 21 日								
(ハ) 泉 温 : 54.0 °C (気温 16 °C) (ニ) 湧出量 : 200 L/min (動力揚湯)								
(ホ) 知覚的試験 : 無色澄明、無味、無臭								
(ヘ) pH 値 : 7.0 (ト) ラドン(Rn) :								
4 試験室における試験成績								
(イ) 試験者 : 日本衛生株式会社 藤澤英樹								
(ロ) 分析終了年月日 : 平成 25 年 6 月 27 日								
(ハ) 知覚的試験 : 無色澄明、無味、無臭 (採水後 7時間)								
(ニ) 密度 : 0.9992 (20/4°C)								
(ホ) pH 値 : 7.08								
(ヘ) 蒸発残留物 : 1.277 g/kg (130°C)								
5 試料1kg中の成分 : 分量及び組成								
(イ) 陽イオン		ミリグラム (mg)	ミリバール (mval)	ミリバール % (mval%)	(ロ) 陰イオン	ミリグラム (mg)	ミリバール (mval)	ミリバール % (mval%)
水素イオン	H ⁺				フッ素イオン	F ⁻	0.2	0.01
ナトリウムイオン	Na ⁺	297.6	12.94	70.36	塩素イオン	Cl ⁻	152.6	4.30
カリウムイオン	K ⁺	39.4	1.01	5.49	水酸イオン	OH ⁻		
アンモニウムイオン	NH ₄ ⁺	1.1	0.06	0.33	硫化水素イオン	HS ⁻	0.0	0.00
マグネシウムイオン	Mg ²⁺	24.0	1.97	10.71	チオ硫酸イオン	S ₂ O ₃ ²⁻	0.0	0.00
カルシウムイオン	Ca ²⁺	47.9	2.39	13.00	硫酸イオン	SO ₄ ²⁻	311.4	6.48
アルミニウムイオン	Al ³⁺				炭酸水素イオン	HCO ₃ ⁻	472.1	7.74
マンガンイオン	Mn ²⁺				炭酸イオン	CO ₃ ²⁻	0.3	0.01
第一鉄イオン	Fe ²⁺	0.6	0.02	0.11	リン酸イオン	HPO ₄ ²⁻	0.1	0.00
第二鉄イオン	Fe ³⁺							
計		410.6	18.39	100.	計		936.7	18.54
(ハ) 遊離成分								
非解離成分		ミリグラム (mg)	ミリモル (mmol)	非解離成分		ミリグラム (mg)	ミリモル (mmol)	
メタ珪酸	H ₂ SiO ₃	255.8	3.28					
メタ硼酸	HBO ₂	7.8	0.18					
計		263.6	3.46	計				
溶存物質 (ガス性のものを除く)				1.611 g/kg				
溶存ガス成分		ミリグラム (mg)	ミリモル (mmol)					
遊離二酸化炭素	CO ₂	37.5	0.85					
遊離硫化水素	H ₂ S	0.0	0.00					
計		37.5	0.85					
成分総計				1.648 g/kg				
(ニ) その他の微量成分		マンガン : 0.083 mg/kg、銅 : 0.003 mg/kg、亜鉛 : 0.002 mg/kg、総ヒ素 : 0.043 mg/kg 鉛、カドミウム、総水銀、アルミニウム : 検出せず						
6 泉 質 : ナトリウム - 炭酸水素塩・硫酸塩・塩化物温泉 (中性低張性高温泉)								
7 禁忌症、適応症 : 「温泉分析書別表」中5に記載する。								
平成 25 年 6 月 27 日								
登録分析機関 登録番号 北海道 第11号 札幌市清田区平岡1条1丁目1番40号 日本衛生株式会社								

溫泉分析書別表

1	源 泉 名	: ニセコアンヌプリ温泉
2	源 泉 所 在 地	: 北海道虻田郡ニセコ町ニセコ438番地
3	温 泉 分 析 申 請 者	: 札幌市白石区菊水6条3丁目1-26 デリシヤス株式会社
4	泉 質	: ナトリウム-炭酸水素塩・硫酸塩・塩化物温泉 (中性低張性高温泉)(旧泉質名: 含芒硝・食塩-重曹泉)
5	療養泉分類の泉質に基づく禁忌症、適応症等は次のとおりである。	
浴 用	禁 忌 症	急性疾患（特に熱のある場合）、活動性の結核、悪性腫瘍、重い心臓病、呼吸不全、腎不全 出血性疾患、高度の貧血、その他一般に病勢進行中の疾患、妊娠中（特に初期と末期）。
	適 応 症	神経痛、筋肉痛、関節痛、五十肩、運動麻痺、関節のこわばり、うちみ、くじき、疲労回復 慢性消化器病、痔疾、冷え症、病後回復期、健康増進、虚弱児童、慢性皮膚病、慢性婦人病 きりきず、やけど、動脈硬化症。
飲 用	禁 忌 症	腎臓病、高血圧症、下痢の時、その他一般にむくみのあるもの。
	適 応 症	慢性消化器病、慢性便秘、慢性胆のう炎、胆石症、肥満症、糖尿病、痛風、肝臓病。
浴 用 、 飲 用 の 一般的注意事項		1 入浴の方法及び注意 (1) 熱い温泉に急に入ると、めまい等を起こすことがあるので十分注意をすること。 (2) 入浴時間は入浴温度により異なるが、初めは3分ないし10分位とし、なれるにしたがって延長してもよい。 (3) 入浴中は運動浴の場合は別にして、一般には安静を守ること。 (4) 入浴後は湯冷めに注意して一定時間の安静を守ること。 (5) 高度の動脈硬化症、高血圧症及び心臓病の患者は原則として、高温浴（42℃以上）を禁忌とする。 (6) 入浴後は身体に付着した温泉成分を水で洗い流さないのがよい。ただし、「湯ただれ」を起こし易い人は逆に浴後真水で身体を洗うか、温泉成分をふき取るのがよい。 (7) 食事の直前、直後の入浴は避けることが望ましい。 (8) 飲酒しての入浴は特に注意すること。 (9) その他 2 飲用の方法及び注意 (1) 飲用の1回量は一般に100mlないし200ml程度とし、その1日量はおおむね200mlないし1,000mlまでとする。 (2) 一般には食前30分ないし1時間がよい。 (3) 夕食後から就寝前の飲用はなるべく避けること。 (4) その他 ◎ 温泉療養に際しては、医師の指導を受けることが望ましい (注) この別表は、温泉法第14条による掲示に必要な参考資料となるものである。

保健所の特別な許可が必要な為、当館の温泉は

飲用は出来ません

平成 25 年 7 月 3 日

決定者 北海道立衛生研究所長